

# 道路・河川法面を利用した太陽光発電システムの提案

目的1. 電力不足を回避するためのピーク電力抑制

電力抑制の有効な方法

- ・ 電力使用制限(節電) → 前年比 15%減
- ・ ピーク電力抑制 → 太陽光発電導入など

目的2. スムーズな自然エネルギーの普及

※ 布製型枠コンクリートマットとは  
2枚の布を織り合わせた布製の型枠。  
この中にモルタルまたはコンクリートを注入し、コンクリートマットができあがる。  
施工が簡単・軽量・地盤形状になじむ という特徴を持つ。

太陽光発電導入の効果・メリットと普及への課題

効果・メリット

- ・ 夏場のピーク時(午後2時ごろ)の電力抑制に有効
- ・ 安全でクリーンなエネルギー
- ・ ほぼメンテナンスフリー

普及への課題

- ・ エネルギー変換効率が低いため、ある程度の面積必要
- ・ 設置場所の確保
- ・ 基礎・架台の設置

課題のクリア

提案する太陽光発電システム

- ・ 道路・河川法面を利用
- ・ 布製型枠コンクリートマット<sup>※</sup>を土台とした太陽光発電システム

メリットと期待される効果

メリット

- ・ 面積を確保しやすい
- ・ 法面勾配を利用し、架台を簡略化
- ・ 地盤形状に左右されにくい
- ・ コンクリート基礎が不要
- ・ 法面保護の機能を有するため地盤が安定

期待される効果

- ・ リードタイムの短縮
- ・ ピーク電力の抑制
- ・ 自然エネルギー普及のスピードアップ

タコソル工法

未利用地【道路・河川法面】を有効利用し、電力を創出



太陽光発電



有効な未利用地の活用



布製型枠コンクリートマット



- リードタイムの短縮
- ピーク電力の抑制
- 普及のスピードアップ



施工後(イメージ)